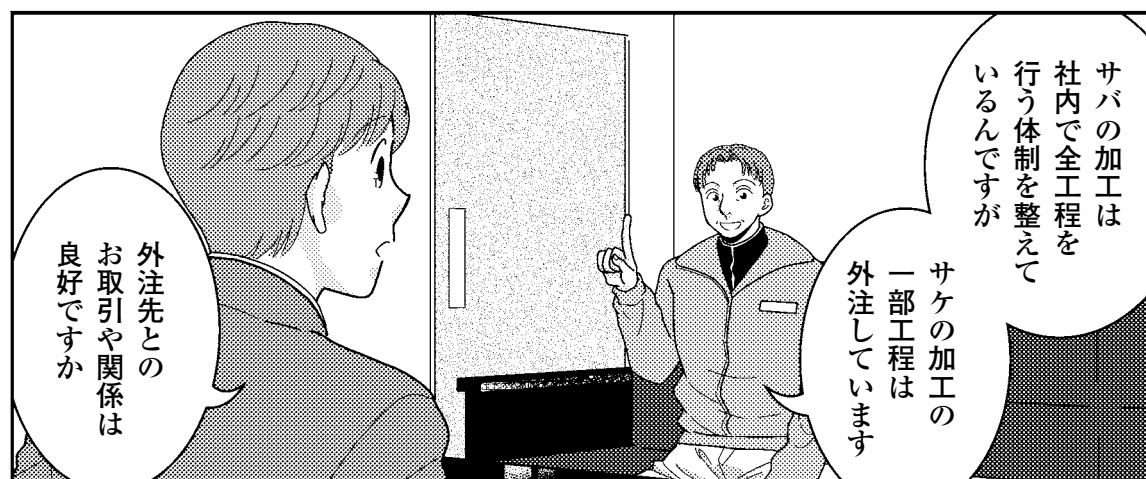
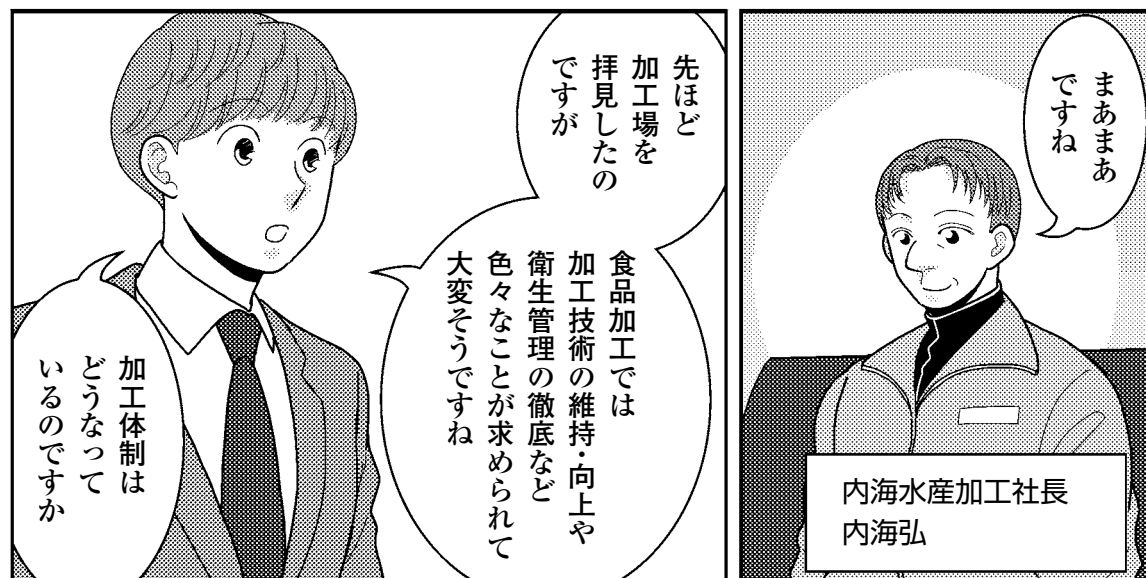
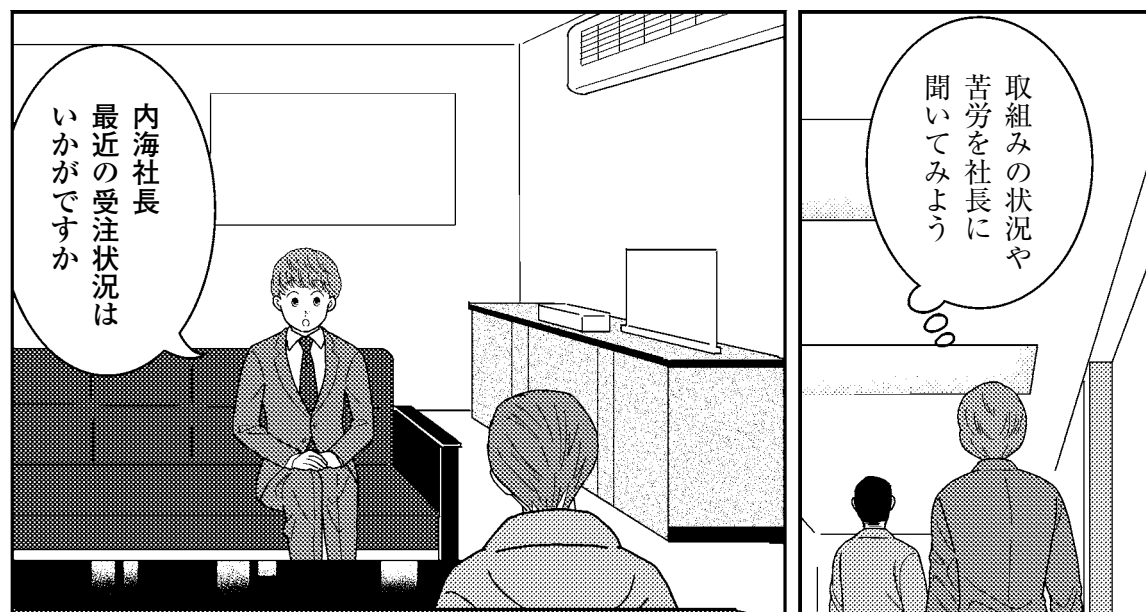




マンガ 事業性評価につながる

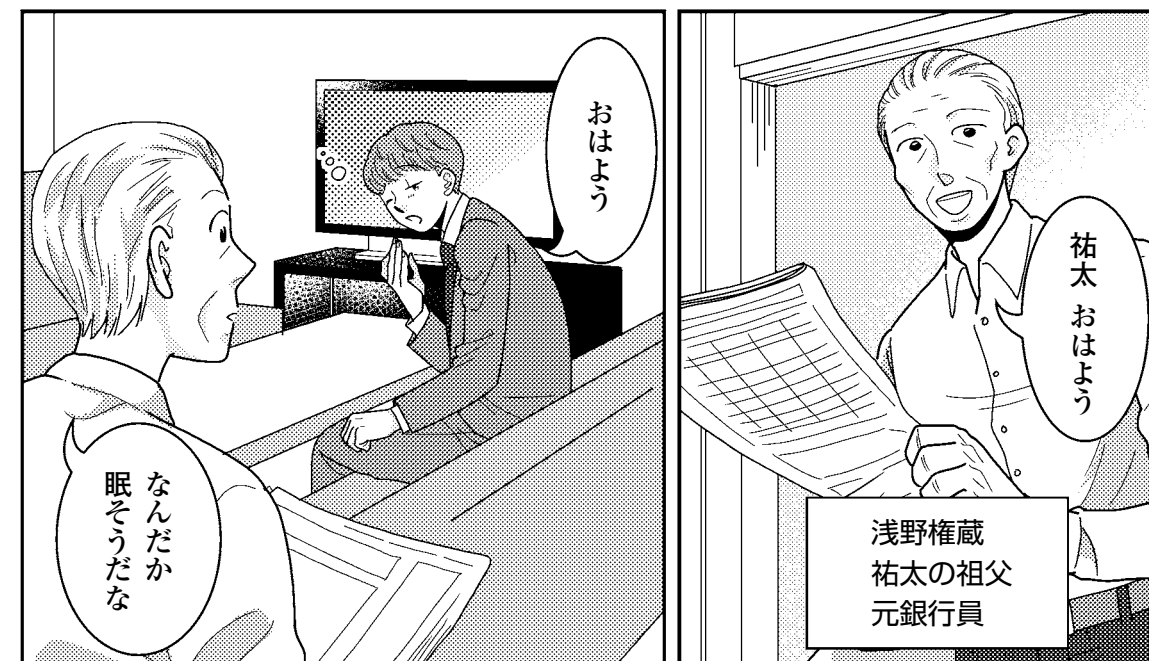
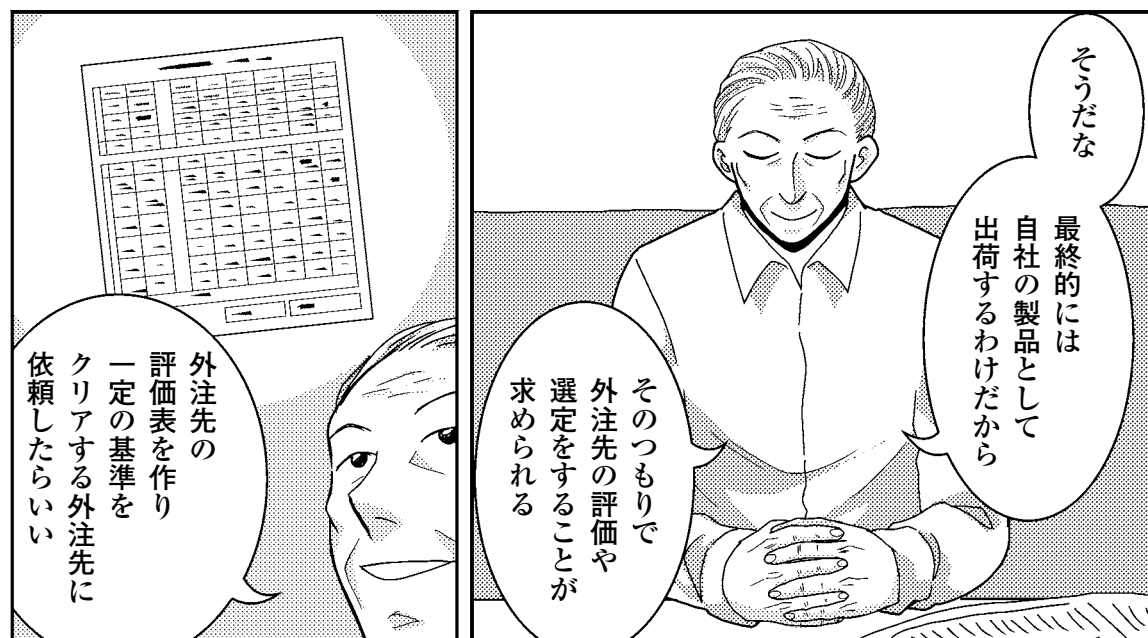
原作▶宮内健次  
画▶松尾陽子

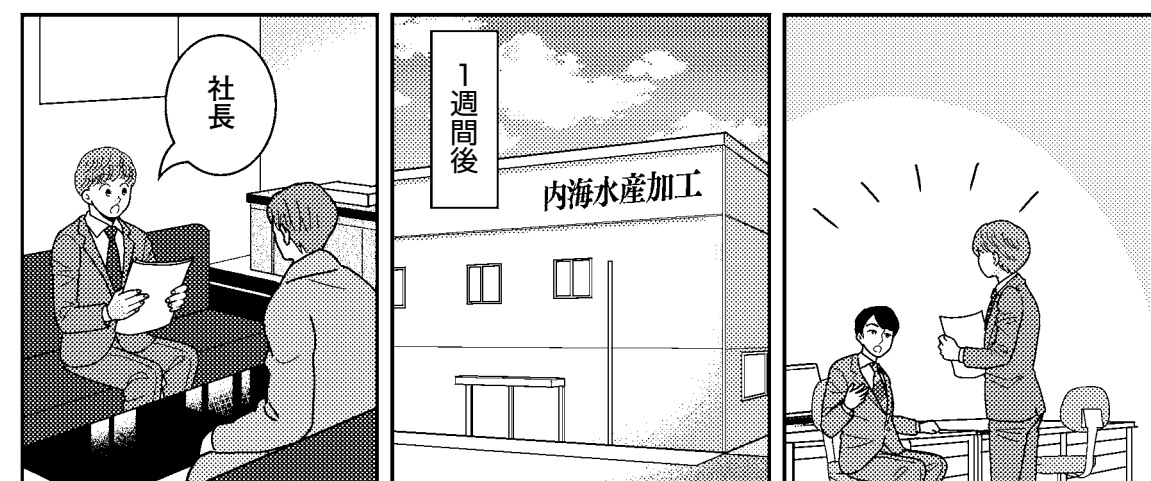
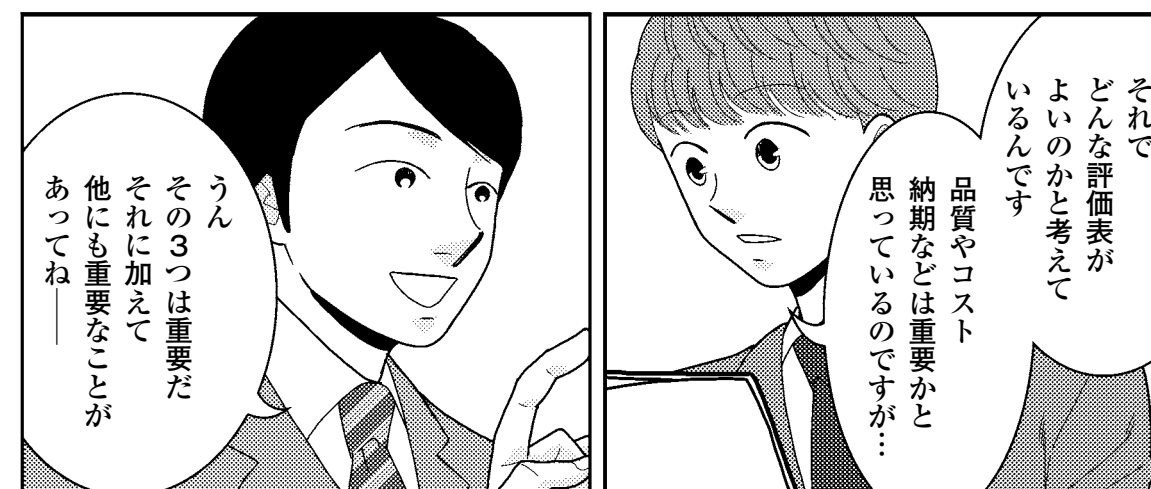
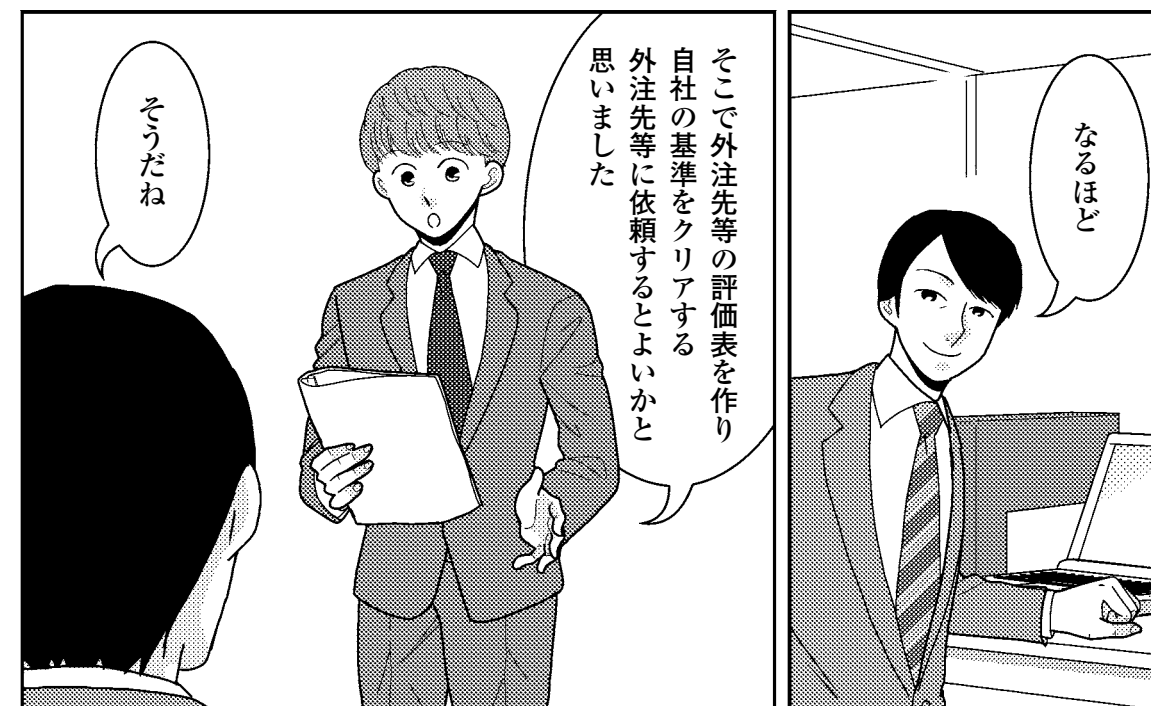
# 企業の見方&アドバイス

第16回 優良な外注先や仕入先を選定するための評価表の作成・活用を提案











**解説**

外注先や仕入先については、しっかりとした評価表を作成し、それをもとに社内審査し、優良企業を選定することが重要です。

**主に5つの項目で評価**

外注先等の評価表を作成するときには、基本的には次の5つの項目を盛り込むとよいでしょう。

1つ目は品質です。求める品質に対応できるかや製品等の検査体制が整備されているかを見ます。特に不良品が発生しないような予防措置があるか、不良品が発生してもきちんと是正措置を行い再発防止できる仕組みになっているかが重要です。

2つ目はコストです。求めるコストに対応できるかや生産工程の効率化に取り組んでいるかを見ます。

3つ目は納期です。求める納期に対応できるかや生産工程でトラブルが発生してもリカバリーできる仕組みになっているかを見ます。

**今回のポイント**

- 外注先や仕入先は評価表で審査し、優良企業を選定することが重要
- 品質やコスト等項目を含む評価表の活用をアドバイスするとよい



4つ目はクレーム対応です。お客様からのクレームについて一緒に迅速に対応できる体制になっているかを見ます。

5つ目は技術力です。製造の技術等は日進月歩で進化しています。技術開発する体制を持ち、開発を進めているかを見ます。

金融機関の担当者としては、取引先に対してその外注先や仕入先との取引がなりゆきになっているかを確認し、なりゆきになっている場合は前述したような評価表の作成・活用をアドバイスするとよいでしょう。

**●外注先等の主な評価項目と着眼点**

| 項目     | 着眼点                                            |
|--------|------------------------------------------------|
| 品質     | 求める品質に対応できるかや製品等の検査体制が整備されているか                 |
| コスト    | 求めるコストに対応できるかや生産工程の効率化を図っているか                  |
| 納期     | 求める納期に対応できるかや生産工程でトラブルが発生してもリカバリーできる仕組みになっているか |
| クレーム対応 | クレームについて自社とともに迅速に対応できる体制になっているか                |
| 技術力    | 技術開発する体制を持ち、開発を進めているか                          |

それぞれの着眼点はこのようなになっています

